

エキスパート登録 **専門家から**の**ワンポイント
アドバイス**

プロフィール

株式会社森の経営 コンサルタント

代表取締役 **森 昭博**

働きがい・やる気を高めて売上をアップさせる組織づくりの専門家。東京都でJAグループ出版社に勤めた後、地元・香川県にUターン転職し、タウン情報誌出版社、放送局に勤務。エリアや特性の異なる各種メディアで約15年間、営業・制作・事業の職務経験を得た。経営コンサルタント・中小企業診断士として平成24年4月に独立開業。現在に至る。

成功のために大事なものは手法より姿勢**1. これさえやればうまくいくという手法はない**

経営に「これさえやればうまくいく」という手法はありません。しかし「うまくいく方法」を見つけようとしている経営者の方は案外多いのではないのでしょうか。別の会社でうまくいった手法が自社でもうまくいくとは限りません。過去にうまくいった手法も同じです。では、どうすればよいか。それは、いかに「あの手この手を試すか」です。それしかないのです。

2. 成功している会社とそうではない会社の違い

成功している会社とそうではない会社の違いは「あの手この手を試しているかどうか」です。成功している会社は、うまくいったばかりいるかということ、そうではなく、たくさん失敗しています。しかし、次々とあの手この手を試しているうちにうまくいくので、外からはうまくいったばかりのように見えるのです。

そうではない会社は、あの手この手を試せず、立ち止まっているため、うまくいかなくなるのです。

3. 大事なものは手法より姿勢

あの手この手を試すために必要なこと、それは組織のメンバーがやる気になることです。大事なものは手法ではなく、姿勢なのです。

やる気を出すためのポイントは、**①働く意義を意識する** **②感謝の気持ちを持つ** **③前向きにとらえる** の3つです。

働く意義とは世の中に必要とされている仕事だと認識することです。必要としてくれている人がいると思うとやる気が出ます。

感謝（ありがとう）の語源は「有り難い（ありがたい）」だと言われています。「有り難い」の反対語は「当たり前」です。「給料はもらえて当たり前だ」など何でも“当たり前”と考える人がいます。そうすると“不満”しか感じられなくなります。「有り難い」と考えると「自分は幸せだ」「何かでお返ししたい」と感じられ、やる気が出てきます。

また、どんな困難も「自分が成長するチャンス」と前向きにとらえるとやる気が出ます。

「うまくいく方法」を探すより、メンバーがやる気になる組織をつくるほうが成功への近道と言えます。

小規模事業者持続化補助金 (平成29年度補正予算) 応募締切近づく!

小規模事業者が、商工会の助言等を受けて経営計画を作成し、その計画に沿って地道な販路開拓等に取り組む費用の2/3を補助するものです。

補助上限額：50万円

*以下の場合は、補助金上限額が100万円に引き上がります。

- ①従業員の賃金を引き上げる取り組みを行う事業者
- ②買物弱者対策の取組
- ③海外展開の取組

受付開始：平成30年**3月9日**（金） **受付締切**：平成30年**5月18日**（金）**応募に係るお問合せは、お近くの商工会へどうぞ。**